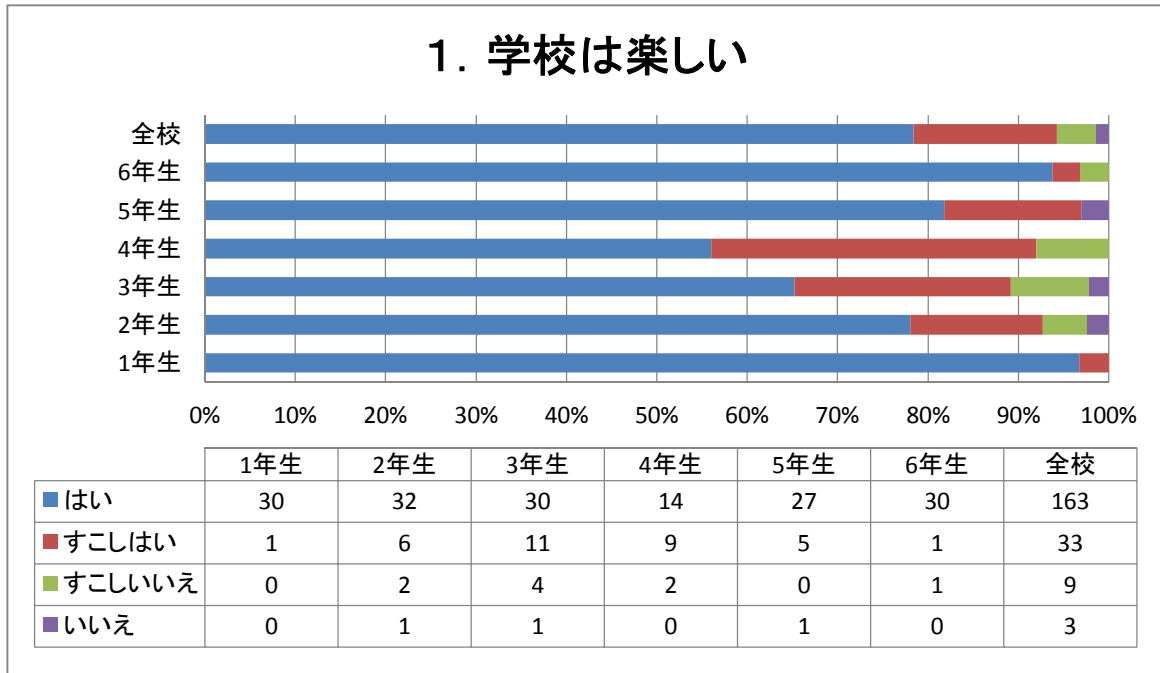
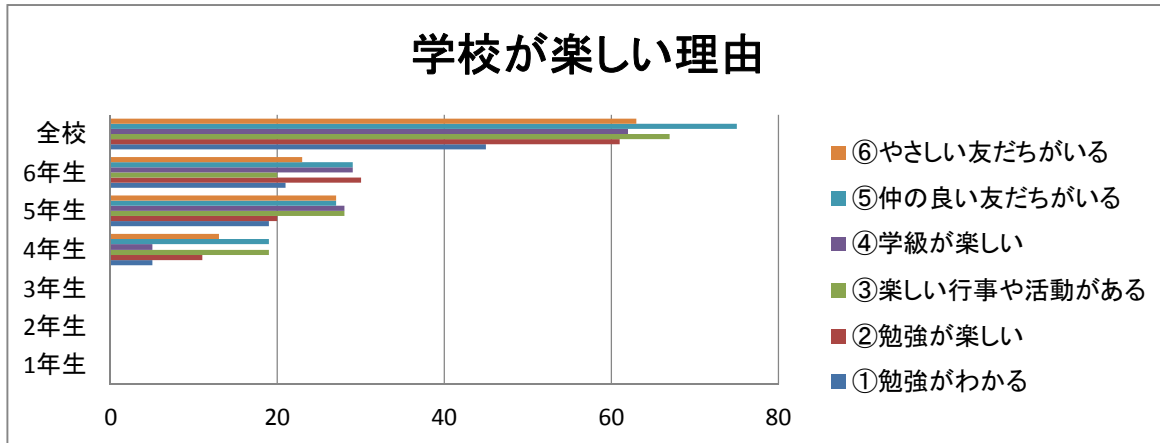


平成27年度 1学期 児童アンケート(学校評価)結果

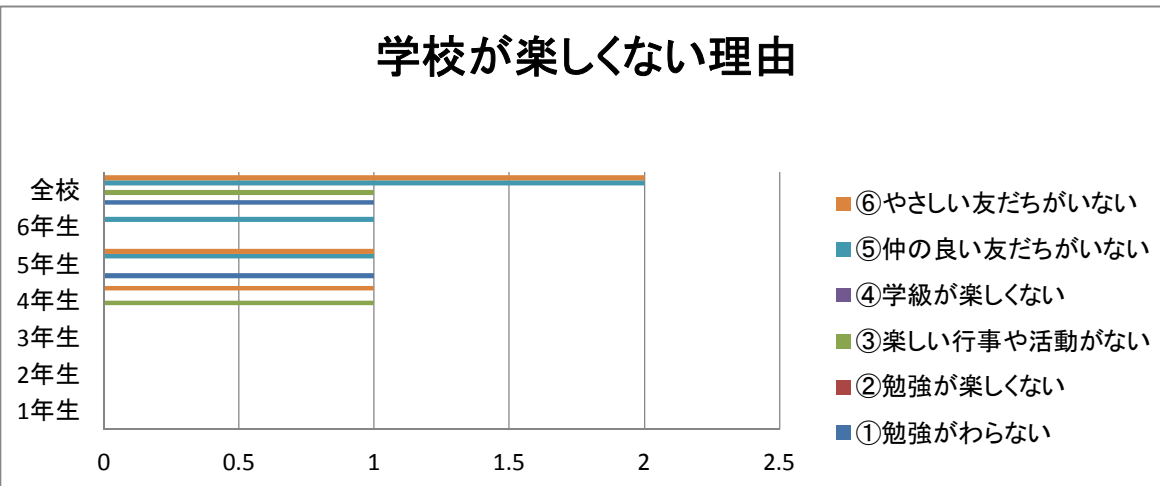
1. 学校は楽しい



学校が楽しい理由

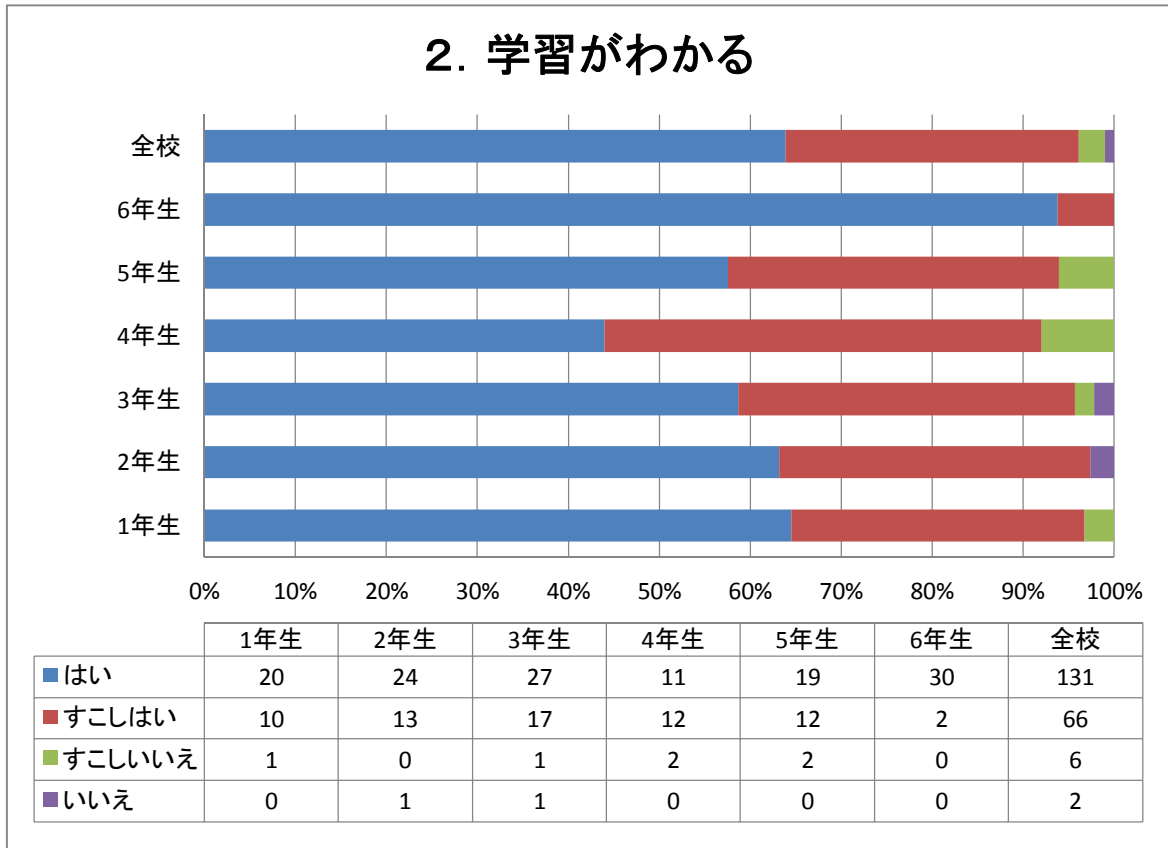


学校が楽しくない理由



「はい」「すこしはい」が196名おり、多くの児童が「学校が楽しい」と感じているのがわかる。楽しい理由として、「勉強が楽しい」「楽しい行事や活動がある」「仲のよい友だちがいる」(一番回答が多かった)「学級が楽しい」「やさしい友だちがいる」などが多く挙げられていた。友達とのつながりを大切にしてきた、学校・学級での取組の成果であると言える。しかし、「すこしいいえ」「いいえ」と答えている児童が12名いる。学校が楽しくないと感じている理由としては、「勉強がわからない(1名)」「楽しい行事や活動がない(1名)」「仲のよい友だちがいない(2名)」などが挙げられた。今後、これらの児童の実態を継続的に把握しながら、学習面や友だち同士の関わりにおいて、個別指導、スモールステップでの支援や指導を、行っていく必要があると考える。

2. 学習がわかる



学習がわかる理由

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 全校 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| ①先生がわかるまで教えてくれる | | | | 6 | 23 | 17 | 46 |
| ②先生の教え方が丁寧・わかりやすい | | | | 10 | 28 | 31 | 69 |
| ③「めあて」「まとめ」がわかりやすい | | | | 11 | 16 | 17 | 44 |
| ④板書が分かりやすい | | | | 15 | 28 | 28 | 71 |
| ⑤ゆっくりわかりやすい | | | | 10 | 24 | 10 | 44 |
| ⑥発表し合って、考えが深まる | | | | 9 | 23 | 27 | 59 |

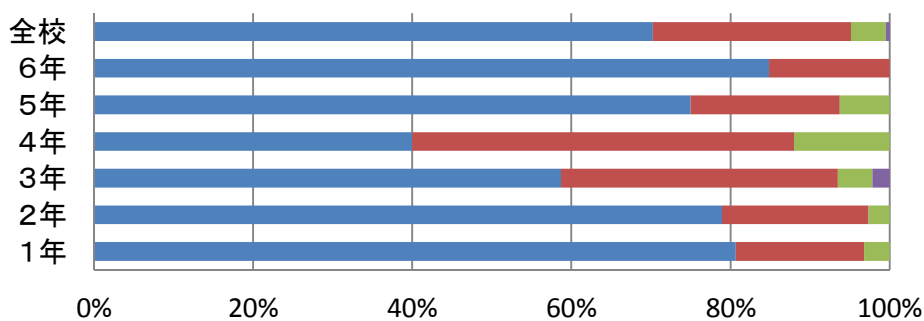
○分からないところを先生が丁寧に教えてくれる。(5年生) ○とっても分かりやすい。(6年生)
○間違っても同じ班の人がやさしく教えてくれるから。(6年生) ○大事な所は集中して説明してくれる。(6年生)

学習がわからない理由

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 全校 |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| ①先生がわからないときにおしえてくれない | | | | 1 | 1 | 0 | 2 |
| ②先生の教え方がわかりにくい | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| ③「めあて」「まとめ」がわかりにくい | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ④板書が分かりにくい | | | | 0 | 2 | 0 | 2 |
| ⑤勉強の進むのがはやい | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| ⑥あまり発表したりできない | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |

「はい」「すこしはい」が197名おり、多くの児童が「学習がわかる」と感じていることがわかる。わかる理由としては、「先生の教え方が丁寧」「板書がわかりやすい」「発表し合って考えが深まる」などが多く挙げられていた。細かな手立て(教材・発問・指示・説明・交流活動など)を大切にした指導の成果であるとする。しかし、「すこしいいえ」「いいえ」と答えている児童が8名いる。理由としては「先生がわからないときに教えてくれない」「板書がわかりにくい」などが挙げられた。毎時間の学習の中で、板書についての見直しや、子どもたちのつぶやきに耳を傾けたり、学習内容理解の把握を行いながら、さらに、積極的な指導を、大切にしていける必要があると考える。

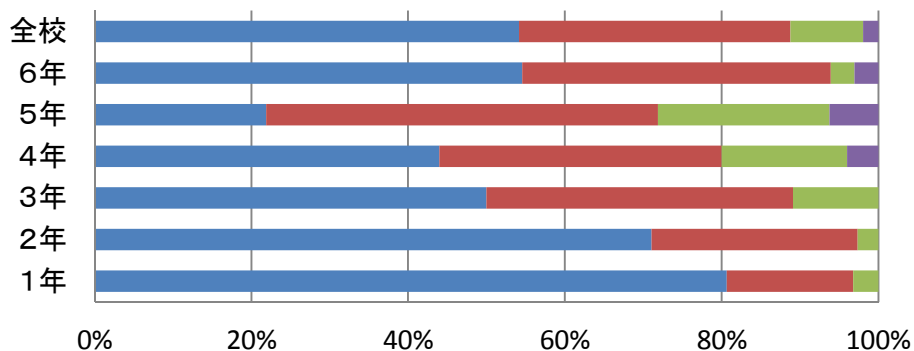
3. 先生の話や友だちの発表を聞いて、学習に参加する



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 25 | 30 | 27 | 10 | 24 | 28 | 144 |
| ■ すこし はい | 5 | 7 | 16 | 12 | 6 | 5 | 51 |
| ■ すこし いいえ | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 0 | 9 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

「はい」「すこしはい」が195名おり、多くの児童が友達の発表を聞いて、学習に参加していることがわかる。「聞く」ことの大切さ(特に話す人の方を向いて聞く)を全職員共通理解の基、各学級、行事の中で指導を継続的に行ってきた成果である考える。しかし、10名の児童は、「すこしいいえ」「いいえ」と答えている。「雷山小で大切にしたい学習規律」を再度、教師だけでなく、児童も一緒に確認をしていき、日常指導(学習場面だけでなく)を行っていく必要があると考える。

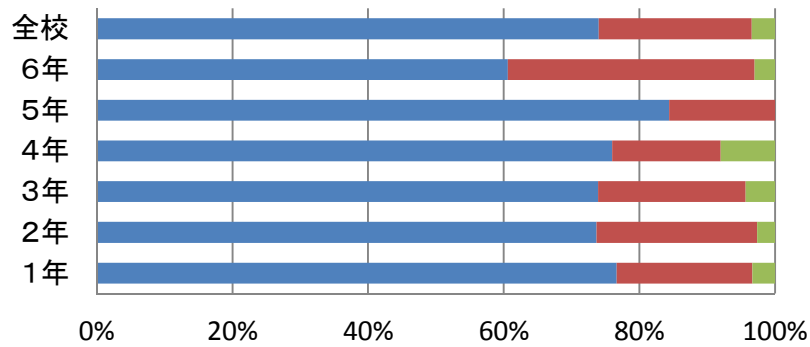
4. 考えたこと・思ったことを発表したり書いたりする



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 25 | 27 | 23 | 11 | 7 | 18 | 111 |
| ■ すこし はい | 5 | 10 | 18 | 9 | 16 | 13 | 71 |
| ■ すこし いいえ | 1 | 1 | 5 | 4 | 7 | 1 | 19 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 4 |

「はい」「すこしはい」が182名おり、多くの児童が考えたこと・思ったことを発表したり、書いたりすることができている。学級によっては、全員発表の取組や、ネームカードの活用などの手立てをとってきた成果であるとする。また、発表する前の自分の考えをつくる活動、考えをまとめて書く活動をしっかり取ることで、発表への意欲と自信につなげることができたとする。「すこしいいえ」「いいえ」と答えている児童は23名おり、発表することや、書くことへの苦手意識があるとする。発表することのよさを伝えたり、感じさせたりすることや、書いた内容に自信をもたせるため、書いたあとで、ペア交流を行う場を設定したりするなどの、手立てが必要であるとする。

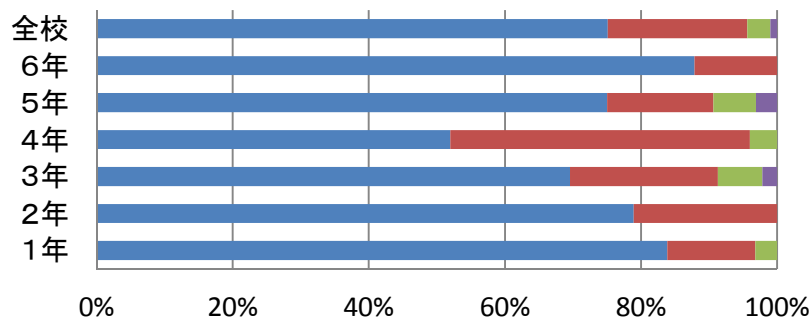
5. 自分から進んであいさつをする



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 23 | 28 | 34 | 19 | 27 | 20 | 151 |
| ■ すこし はい | 6 | 9 | 10 | 4 | 5 | 12 | 46 |
| ■ すこし いいえ | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 7 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「はい」「すこしはい」が197名おり、多くの児童が気持ちのよいあいさつをすることができている。あいさつに関しては、教師評価も高い。あいさつ運動の取組の効果が大きかったと考えられる。しかし、「すこしいいえ」「いいえ」と答えている児童もいる。気持ちのよい挨拶とはどのような挨拶か、また、そのような挨拶を実際に児童同士で体験させてみるなどの手立てが必要であると考えられる。

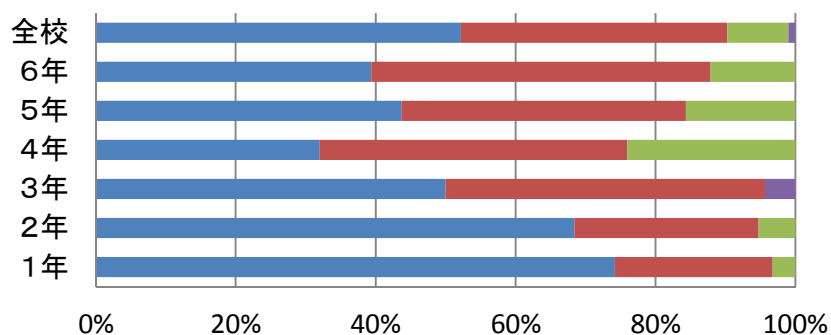
6. 友だちと協力して活動、仲良く遊ぶ



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 26 | 30 | 32 | 13 | 24 | 29 | 154 |
| ■ すこし はい | 4 | 8 | 10 | 11 | 5 | 4 | 42 |
| ■ すこし いいえ | 1 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 | 7 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 |

「はい」「すこしはい」が196名おり、多くの児童が、友達と協力して活動したり、仲良く遊んだりすることができている。トラブルはあっても、教師の支援と指導の基で、問題が解決されていった成果だと考える。しかし、「すこしいいえ」「いいえ」と答えている児童も9名いる。班活動(学習・生活)、係活動など、友だちとの関わりを深める、活動の場を多く設定することや、活動後の振り返り活動(よさを伝え合う)を行うことなどが考えられる。

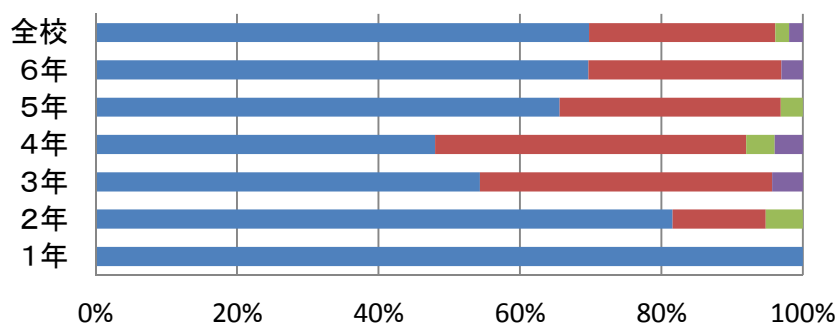
7. 良いことと悪いことを判断して行動する



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 23 | 26 | 23 | 8 | 14 | 13 | 107 |
| ■ すこし はい | 7 | 10 | 21 | 11 | 13 | 16 | 78 |
| ■ すこし いいえ | 1 | 2 | 0 | 6 | 5 | 4 | 18 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |

「はい」「すこしはい」が185名おり、多くの児童が良いことと悪いことを判断して行動することができる。よりよい行いについては、学校生活全般において、各先生方が機会を捉えながら、指導している成果であると言える。しかし、20名の児童は「すこしいいえ」「いいえ」と答えている。良いこと、悪いことの判断はされても、行動するまでには至っていないと考える。よりよい行動が行われた時には、意味付け、価値付けを個人・全体に対して行っていく必要があると考える。

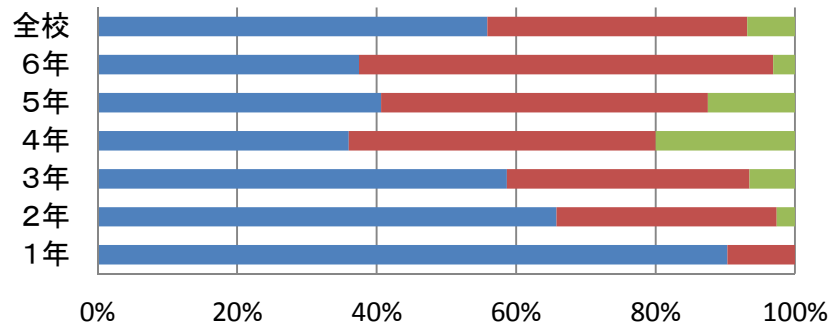
8. やるべきことを最後までやり通す



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 31 | 31 | 25 | 12 | 21 | 23 | 143 |
| ■ すこし はい | 0 | 5 | 19 | 11 | 10 | 9 | 54 |
| ■ すこし いいえ | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 4 |

「はい」「すこしはい」が197名おり、多くの児童がやるべきことを最後までやり通すことができる。粘り強い気持ちを、学級での取組、行事等を通して育てていった成果であると言える。しかし、8名の児童は「すこしいいえ」「いいえ」と答えている。最後まで活動を支援し、活動を終えた(やり遂げた)喜びを感じさせることが、今後必要であると考え。

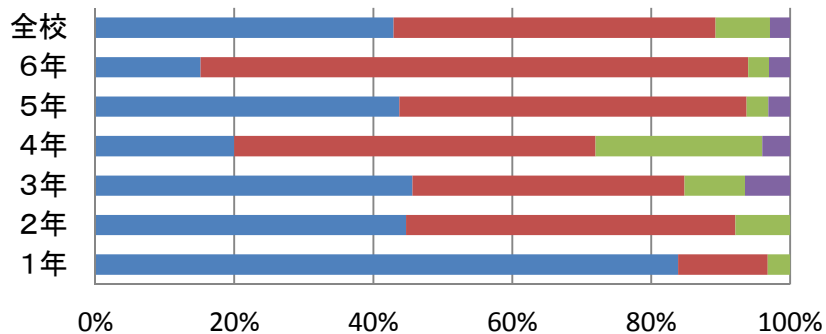
9. だまってそうじする



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 28 | 25 | 27 | 9 | 13 | 12 | 114 |
| ■ すこし はい | 3 | 12 | 16 | 11 | 15 | 19 | 76 |
| ■ すこし いいえ | 0 | 1 | 3 | 5 | 4 | 1 | 14 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「はい」「すこしはい」が190名おり、多くの児童がだまってそうじをすることができている。もくもくそうじ週間の取組が有効であったと考える。また、日頃から各先生方が、徹底したそうじ指導を行っている結果であると考え。しかし、「すこしいいえ」「いいえ」の児童は14名いる。継続した意識づけと、同じそうじ場所でのメンバー同士の関わり(声かけ)が必要があると考える。

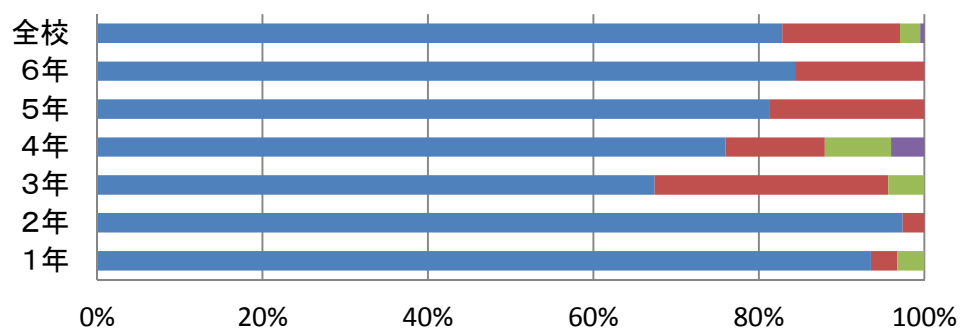
10. やさしい言葉づかいができる



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|
| ■ はい | 26 | 17 | 21 | 5 | 14 | 5 | 88 |
| ■ すこし はい | 4 | 18 | 18 | 13 | 16 | 26 | 95 |
| ■ すこし いいえ | 1 | 3 | 4 | 6 | 1 | 1 | 16 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 6 |

「はい」「すこしはい」が183名おり、やさしい言葉づかいをする児童が多くなってきたことがわかる。各教師が「言葉の大切さ」について意識し、児童に伝えたり、考えさせたりする場を多く設定した成果であると考え。しかし、他の質問項目と比べ、「すこしはい」と答えている児童が多い。「すこしいいえ」「いいえ」と答えている児童も22名いる。なかよしスキルの確実な実施、ふわふわ言葉(学級掲示)について考える時間の設定、1日(1週間)の短いスパンでの振り返りの視点に、「やさしい言葉づかい」を入れるなどの取組が考えられる。

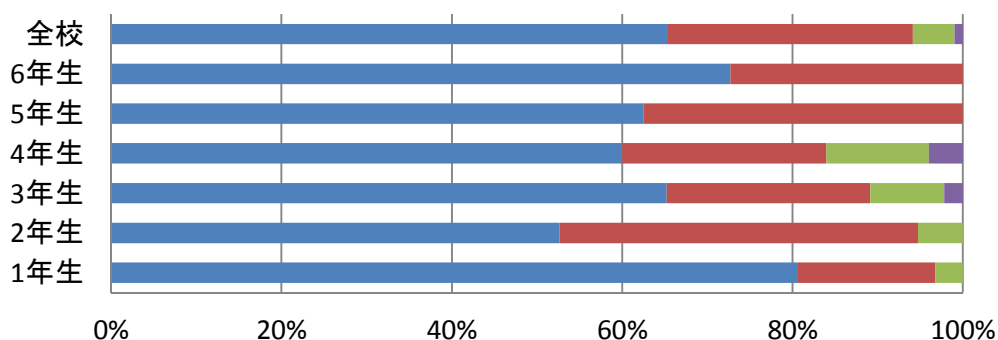
11. 決められた宿題をきちんとする



| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| ■ はい | 29 | 37 | 31 | 19 | 26 | 27 | 169 |
| ■ すこし はい | 1 | 1 | 13 | 3 | 6 | 5 | 29 |
| ■ すこしいいえ | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 5 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

「はい」「すこしはい」が198名おり、多くの児童が宿題をきちんとすることができている。学校からは毎日宿題を出しており、出しっぱなしではなく、学校では、提出チェック、宿題の答えあわせ、やり直し等、意識化を図っている成果であると言える。「すこしいいえ」「いいえ」の児童は6名と少ないが、確実に実施させるためにも、学校だけでなく、家庭との連携を取りながら、取組を進めて行く必要があると考える。

12. 忘れ物なく、毎日の学習の準備をする



| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 全校 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ■ はい | 25 | 20 | 30 | 15 | 20 | 24 | 134 |
| ■ すこしはい | 5 | 16 | 11 | 6 | 12 | 9 | 59 |
| ■ すこしいいえ | 1 | 2 | 4 | 3 | 0 | 0 | 10 |
| ■ いいえ | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |

「はい」「すこしはい」が193名おり、忘れ物がないように学習準備をすることができている。各学級、週計画表の作成、連絡帳の活用など、学習準備への意識化をしっかりと図ってきた成果であると考えられる。しかし、「すこしいいえ」「いいえ」と答えた児童は12名おり、学習の準備(物構え)ができていないことがわかる。家庭での学習の準備の時間、仕方など、忘れないための手立てを児童に伝え、実行させる必要があると考える。